

<令和4年度第2回水産増殖懇話会講演会>

九州発：大学の増養殖研究とアウトリーチ活動

日時・場所：令和4年9月7日 13:30-17:00 フェニックス・シーガイア・リゾート（新型コロナウイルス感染が拡大した場合には実施場所や方法に変更の可能性があります）

企画責任者：阪倉良孝（長大院水環）

13:30～13:35 開会の挨拶・趣旨説明

座長：阪倉良孝（長大院水環）

13:35～14:00 九州大学における養殖研究とアウトリーチ

松山倫也（九大農）

14:00～14:25 「唐津Qサバ」の開発と販路形成

長野直樹（宮大農）

14:25～14:50 鹿児島県のウナギ増殖プロジェクト

小谷知也（鹿大水）

14:50～15:00 休憩

座長：小谷知也（鹿大水）

15:00～15:25 琉球大学 COI-NEXT サステイナブル陸上養殖拠点

竹村明洋（琉大理）

15:25～15:50 長崎大学 COI-NEXT ながさき BLUE エコノミー形成拠点

征矢野清（長大海洋イノベ）

15:50～16:15 宮崎密着型の循環型サクラマス養殖

内田勝久（宮大農）

16:15～16:25 休憩

16:25～16:55 総合討論・意見交換会

16:55～17:00 閉会の挨拶

阪倉良孝（長大院水環）

企画趣旨

大学の研究は、科学の真理を探究する基礎研究を担う一方で、アウトリーチ、すなわち各々の大学の地域との連携も求められるようになって久しい。これらの要求はもちろん増養殖分野にも及んでおり、大学ごとに特色のあるプロジェクトが動いている。令和4年度に日本水産学会秋季大会が九州で開催されることにちなみ、本シンポジウムでは、九州にある大学の増養殖研究とアウトリーチ活動を紹介するとともに、広く情報交換を行うことを趣旨として企画した。